

穂の国とよはし芸術劇場PLAT「ダンス・レジデンス2022」成果発表会

児玉北斗振付 新作ダンスパフォーマンス

WOUND AND GROUND (β ver.)

👉 成果発表 2022年5月21日(土) 12:30-15:30 予定

@ 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール舞台上

参加費無料 詳細 / WEB申し込みフォーム 📄

<https://www.toyohashi-at.jp/event/workshop.php?id=472>



👉 メンバー | 黒田健太、児玉北斗、武田真彦、竹宮華美、田中すみれ、藤田彩佳、益田さち、渡辺瑞帆

👉 Website www.hokutokodama.com

ダンスにおける身体と権力の関係性に挑みつつける振付家・児玉北斗が今春、穂の国とよはし芸術劇場「ダンス・レジデンス」の成果発表として、新作ダンスパフォーマンス『Wound and Ground(β ver.)』を発表します。

2020年12月に京都で初演した前作『Pure Core』では、風呂法におけるダンス規制の問題を舞踊史、精神医療、そして近代規範の社会史を参照しながら考察。身体の内的感覚に注視するソマティックな振付手法と、照明家・藤本隆行(Kinsei R&D)と作曲家・平野みどり(MimiCof)との協働による鮮烈な演出で、その哲学的・芸術的強度を高く評価されました。

前作のテーマを引き継ぎつつ、入退場自由で3時間という長時間に設定された今作『Wound and Ground(β ver.)』は、民俗学者・折口信夫が霊を地に鎮める行為と論じた「をどり」に立ち返り、場やモノ、音との有機的な共振の中でダンスならざるダンスを立ち上げるパフォーマンスです。この「踊ってはいけない国」で踊り続けるために、私達はこの身体で世界を動かそうともがき続けます。

👉 ダンス・レジデンスとは

「ダンス・レジデンス」は、国内外で活躍するアーティストに新しい作品創造のための稽古場と滞在場所を提供し、アーティストへの支援・育成をおこなうとともに、ワークショップ・試演会等を開催し、市民とアーティストの交流の機会を設け、舞踊や身体表現を身近に体験していただくプログラムとして、2017年より開始しました。

👉 滞在制作

[滞在日程]2022年5月17日(火)-22日(日)

👉 事前申込・お問い合わせ

プラッチケットセンター

<https://www.toyohashi-at.jp>

☎0532-39-3090(10:00-19:00 休館日を除く)

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

主催 | 公益財団法人豊橋文化振興財団

共催 | 豊橋市

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

